

平成30年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	112 数
一般病院	551 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	85 数
検診機関	40 数
合計	791 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	2,542 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	259 数
② 経年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	316 数
経年数合計/細胞診専門医数 (平均)	19.3 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	147 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	51 数
常勤	1,373 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	53 数
非常勤	1,169 数	6 : それ以外	358 数
		合計	1,184 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	796 数
		いいえ	217 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	4,734 数	常勤	3,773 数
② 経年数		非常勤	960 数
経年数合計/細胞診検査士数(平均)	18.1 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	2,726,886	118,144	20,926	34,805	2,900,761	143,644
呼吸器	841,875	31,256	67,467	56,662	997,260	122,443
消化器	75,650	25,788	22,925	8,154	132,517	42,756
泌尿器	1,536,678	132,148	43,059	2,239	1,714,124	92,024
乳腺	89,550	19,353	21,529	24,878	155,310	31,478
甲状腺	92,484	19,807	13,440	19,279	145,010	13,009
体腔液	237,481	18,776	47,588	869	304,714	86,216
リンパ節	26,189	6,040	21,555	4,425	58,209	25,519
その他	96,540	16,949	14,393	5,748	133,630	23,839
小計	5,723,333	388,261	272,882	157,059	6,541,535	580,928

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
17,760	9,690,265	221,544	37,033	156,462	93,201	14,299	8,043	5,380	506	1,932	10,246,755

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	3,560	156	28	47	3,791	198
呼吸器	1,074	40	87	75	2,548	166
消化器	102	35	31	11	179	61
泌尿器	1,998	173	57	3	2,231	127
乳腺	118	26	29	33	206	44
甲状腺	123	27	18	26	194	18
体腔液	313	25	63	1	402	123
リンパ節	35	8	29	6	78	36
その他	127	23	19	8	177	34
小計	7,450	513	361	210	9,806	807

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
25	13,488	308	52	218	130	20	11	8	1	3	14,262

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	3,539 数	医師	3,088 数	プログラム	1,367 数
技師参加者	11,750 数	技師	6,662 数	成績(平均)	97.8 %
合計	15,289 数	参加者	9,750 数		

平成30年度 大学附属病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	112 数
一般病院	数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	数
検診機関	数
合計	112 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	細胞診専門医数	623 数	④ 非常勤の場合の勤務形態	1 : 定期的に週2回以上勤務	17 数
② 経験年数	経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	8639.0	27.9 年	2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	32 数
③ 常勤か非常勤	常勤	518 数		3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	7 数
	非常勤	105 数		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	9 数
				5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	8 数
				6 : それ以外	24 数
				合計	97 数
				勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
				はい	58 数
				いいえ	17 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	細胞診検査士数	769 数	③ 常勤か非常勤	常勤	720 数
② 経験年数	経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	11247.0	14.6 年	非常勤	49 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	197,106	17,531	5,889	5,056	227,732	40,465
呼吸器	65,979	7,416	17,097	5,183	95,675	33,246
消化器	19,892	6,972	6,559	2,973	36,396	13,992
泌尿器	164,358	20,728	7,951	333	193,371	23,485
乳腺	7,235	2,098	3,012	3,140	15,517	6,122
甲状腺	15,258	3,894	3,290	4,982	27,496	3,708
体腔液	67,289	4,943	11,629	274	84,135	30,384
リンパ節	7,708	2,009	6,745	1,525	18,039	8,482
その他	26,323	5,070	4,117	1,690	37,656	9,903
小計	571,359	70,701	66,311	25,141	736,553	169,787

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1773	356941	17814	4959	15174	15695	2196	2147	1395	116	904	419,444

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,760	157	53	45	2,033	361
呼吸器	589	66	153	46	854	297
消化器	178	62	59	27	325	125
泌尿器	1,467	185	71	3	1,727	210
乳腺	65	19	27	28	139	55
甲状腺	136	35	29	44	246	33
体腔液	601	44	104	2	751	271
リンパ節	69	18	60	14	161	76
その他	235	45	37	15	336	88
小計	5,101	631	592	224	6,576	1,516

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
16	3,187	159	44	135	140	20	19	12	1	8	3,745

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	981 数	医師	870 数	プログラム	178 数
技師参加者	2,173 数	技師	1,321 数	成績(平均)	98.1 %
合計	3,154 数	参加者	2,191 数		

平成30年度 一般病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	551 数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	数
検診機関	数
合計	551 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	1,308 数	1 : 定期的に週 2 回以上勤務 60 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3 時間以上 225 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	24983.0 19.8 年	3 : 毎週 1 回勤務 : 1 時間～ 3 時間未満 37 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2 週間に 1 回勤務 : 3 時間以上 35 数
常勤	790 数	5 : 2 週間に 1 回勤務 : 1 時間～ 3 時間未満 22 数
非常勤	518 数	6 : それ以外 129 数
		合計 508 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否
		はい 310 数
		いいえ 60 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	2,457 数	常勤 2,272 数
② 経験年数		非常勤 185 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	38086.0 15.6 年	

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	670,871	41,571	10,699	15,419	738,560	69,530
呼吸器	188,240	16,163	45,168	15,439	265,010	82,470
消化器	38,431	15,080	15,149	4,681	73,341	27,207
泌尿器	489,046	57,445	24,713	1,171	572,375	57,897
乳腺	30,893	6,867	10,823	10,218	58,801	20,173
甲状腺	50,269	11,058	7,114	10,929	79,370	8,143
体腔液	134,794	9,815	28,868	431	173,908	52,619
リンパ節	15,986	3,541	12,848	2,508	34,883	16,133
その他	52,073	6,854	8,447	3,222	70,596	12,872
小計	1,670,603	168,394	163,829	64,018	2,066,844	347,044

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
8130	1579067	55969	12628	44716	32591	5504	3304	2496	172	849	1,746,426

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,218	75	19	28	1,340	126
呼吸器	342	29	82	28	481	150
消化器	70	27	27	8	133	49
泌尿器	888	104	45	2	1,039	105
乳腺	56	12	20	19	107	37
甲状腺	91	20	13	20	144	15
体腔液	245	18	52	1	316	95
リンパ節	29	6	23	5	63	29
その他	95	12	15	6	128	23
小計	3,032	306	297	116	3,751	630

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
15	2,866	102	23	81	59	10	6	5	0	2	3,170

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	1,858 数	医師	1,605 数	プログラム	930 数
技師参加者	6,478 数	技師	3,705 数	成績(平均)	98.2 %
合計	8,336 数	参加者	5,310 数		

平成30年度 個人医療機関 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	数
検診機関	数
合計	3 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	6 数	1 : 定期的に週2回以上勤務 2 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上 2 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	64.0 32.0 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満 0 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上 0 数
常勤	3 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満 0 数
非常勤	3 数	6 : それ以外 0 数
		合計 4 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否
		はい 2 数 いいえ 2 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	9 数	常勤 8 数
② 経験年数		非常勤 1 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	221.0 24.6 年	

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,154	17	12	16	1,199	32
呼吸器	0	0	0	0	0	0
消化器	0	0	0	0	0	0
泌尿器	37	0	2	0	39	1
乳腺	0	0	0	0	0	0
甲状腺	5,686	863	1,433	127	8,109	671
体腔液	1	0	0	0	1	0
リンパ節	182	37	351	29	599	258
その他	2	0	0	0	2	0
小計	7,062	917	1,798	172	9,949	962

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
5	9,059	265	41	113	63	6	7	5	1	1	9,566

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	385	6	4	5	400	11
呼吸器	0	0	0	0	0	0
消化器	0	0	0	0	0	0
泌尿器	12	0	1	0	13	0
乳腺	0	0	0	0	0	0
甲状腺	1,895	288	478	42	2,703	224
体腔液	0	0	0	0	0	0
リンパ節	61	12	117	10	200	0
その他	1	0	0	0	1	0
小計	2,354	306	599	57	3,316	321

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
2	3,020	88	14	38	21	2	2	2	0	0	3,189

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	3 数	医師	3 数	プログラム	4 数
技師参加者	24 数	技師	14 数	成績(平均)	100.0 %
合計	27 数	参加者	17 数		

平成30年度 登録衛生検査所 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	85 数
検診機関	数
合計	85 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	441 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	133 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	49 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	9599.0 23.6 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	76 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	5 数
常勤	48 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	10 数
非常勤	393 数	6 : それ以外	108 数
		合計	381 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	239 数
		いいえ	111 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	1,171 数	常勤	500 数
② 経験年数		非常勤	671 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	28052.0 24.0 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,675,203	54,906	4,065	12,635	1,746,809	31,862
呼吸器	488,875	6,803	4,707	28,715	529,100	6,551
消化器	16,591	3,663	1,122	492	21,868	1,536
泌尿器	869,500	53,351	10,160	725	933,736	10,587
乳腺	48,743	10,012	7,395	11,253	77,403	4,919
甲状腺	19,027	3,881	1,468	3,144	27,520	504
体腔液	34,685	3,980	6,935	164	45,764	3,192
リンパ節	2,240	447	1,569	350	4,606	646
その他	17,576	4,956	1,787	822	25,141	1,040
小計	3,172,440	141,999	39,208	58,300	3,411,947	60,837

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
6,473	6,200,570	131,389	16,294	84,684	38,303	5,463	2,202	1,276	155	156	6,486,965

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	19,708	646	48	149	20,551	375
呼吸器	5,751	80	55	338	6,225	77
消化器	195	43	13	6	257	18
泌尿器	10,229	628	120	9	10,985	125
乳腺	573	118	87	132	911	58
甲状腺	224	46	17	37	324	6
体腔液	408	47	82	2	538	38
リンパ節	26	5	18	4	54	8
その他	207	58	21	10	296	12
小計	37,323	1,671	461	686	40,141	716

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
76	72,948	1,546	192	996	451	64	26	15	2	2	76,317

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	504 数	医師	443 数	プログラム	194 数
技師参加者	2,253 数	技師	1,166 数	成績(平均)	96.7 %
合計	2,757 数	参加者	1,609 数		

平成30年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	数
一般病院	数
個人医療機関	数
登録衛生検査所	数
検診機関	40 数
合計	40 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	158 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	11 数
② 経年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	6 数
経年数合計/細胞診専門医数 (平均)	3981.0 25.2 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	26 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	2 数
常勤	14 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	9 数
非常勤	144 数	6 : それ以外	90 数
		合計	144 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	116 数
		いいえ	23 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	327 数	常勤	273 数
② 経年数		非常勤	54 数
経年数合計/細胞診検査士数(平均)	8128.0 24.9 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	176,553	4,057	242	1,676	182,528	1,555
呼吸器	96,553	860	485	7,325	105,223	166
消化器	668	70	79	8	825	5
泌尿器	12,851	498	207	10	13,566	44
乳腺	1,066	188	262	240	1,756	214
甲状腺	2,302	162	141	105	2,710	7
体腔液	702	35	153	0	890	21
リンパ節	72	5	42	13	132	0
その他	459	48	32	14	553	7
小計	291,226	5,923	1,643	9,391	308,183	2,019

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
1,377	1,502,746	14,348	2,980	11,536	6,373	1,109	372	200	62	22	1,541,125

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	4,414	101	6	42	4,563	39
呼吸器	2,414	22	12	183	2,631	4
消化器	17	2	2	0	21	0
泌尿器	321	12	5	0	339	1
乳腺	27	5	7	6	44	5
甲状腺	58	4	4	3	68	0
体腔液	18	1	4	0	22	1
リンパ節	2	0	1	0	3	0
その他	11	1	1	0	14	0
小計	7,281	148	41	235	7,705	50

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
34	37,569	359	75	288	159	28	9	5	2	1	38,528

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	193 数	医師	167 数	プログラム	61 数
技師参加者	822 数	技師	456 数	成績(平均)	94.0 %
合計	1,015 数	参加者	623 数		

精度管理に関する質問調査 総合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	768	いいえ	20		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	762	いいえ	28		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	709	いいえ	75	「はい」ならば何%くらいですか	32.8 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	730	いいえ	53	「はい」の場合のダブルチェック実施率	49.2 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	7.1 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	778	いいえ	2	標本の保管年数 報告書の保管年数	28.9 年 62.6 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	786	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	779	いいえ	5		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	782	いいえ	4		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	778	いいえ	2		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	581	いいえ	201		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	351	いいえ	435	1日の最大検体数	69.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	511	いいえ	278		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	782	いいえ	5		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	769	いいえ	19		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	760	いいえ	22		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	726	いいえ	110		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	773	いいえ	11		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	678	いいえ	110	「いいえ」の場合何%	29.6 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	518	いいえ	269	「はい」の場合 一年何回	52.6 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	472	いいえ	283		

精度管理に関する質問調査 大学附属病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	108	いいえ	4		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	107	いいえ	5		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けられるように努めていますか？	はい	104	いいえ	7	「はい」ならば何%くらいですか	52.3 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	105	いいえ	6	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	58.6 % 2.4 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	109	いいえ	1	標本の保管年数 報告書の保管年数	39.2 年 77.2 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	113	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	111	いいえ	1		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	110	いいえ	1		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	110	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	84	いいえ	28		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	33	いいえ	79	1日の最大検体数	62.7 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	58	いいえ	54		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	112	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	108	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	107	いいえ	5		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	104	いいえ	6		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	106	いいえ	5		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けられるようにしていますか？	はい	104	いいえ	8	「いいえ」の場合何%	49.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	82	いいえ	30	「はい」の場合 一年何回	47.7 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	77	いいえ	30		

精度管理に関する質問調査 一般病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	540	いいえ	10		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	532	いいえ	19		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	503	いいえ	43	「はい」ならば何%くらいですか	33.2 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	503	いいえ	42	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	52.7 % 7.9 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	542	いいえ	1	標本の保管年数 報告書の保管年数	31.8 年 69.8 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	548	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	541	いいえ	4		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	546	いいえ	2		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	541	いいえ	2		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	376	いいえ	167		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	208	いいえ	339	1日の最大検体数	63.3 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	345	いいえ	205		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	544	いいえ	4		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	537	いいえ	14		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	531	いいえ	16		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	495	いいえ	49		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	542	いいえ	6		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	473	いいえ	76	「いいえ」の場合何%	29.8 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	327	いいえ	221	「はい」の場合 一年何回	63.0 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	289	いいえ	234		

精度管理に関する質問調査 個人病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」ならば何%くらいですか	43.0 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	46.7 % %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	3	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	9.0 年 71.0 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	3	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	3	いいえ	0	1日の最大検体数	50.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	3	いいえ	0		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適當な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	3	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	2	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	3	いいえ	0	「いいえ」の場合何%	%
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」の場合 一年何回	20.3 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	2	いいえ	1		

精度管理に関する質問調査 登録衛生検査所 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	79	いいえ	5		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	82	いいえ	3		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	75	いいえ	10	「はい」ならば何%くらいですか	7.7 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	82	いいえ	3	「はい」の場合のダブルチェック実施率	23.9 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	5.3 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	85	いいえ	0	標本の保管年数	8.8 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	85	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	85	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	84	いいえ	1		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	85	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	83	いいえ	2		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	75	いいえ	10	1日の最大検体数	81.7 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	71	いいえ	14		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	84	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	85	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	82	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	85	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	84	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	68	いいえ	17	「いいえ」の場合何%	22.8 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	76	いいえ	9	「はい」の場合 一年何回	28.1 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	75	いいえ	9		

精度管理に関する質問調査 検診施設 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	39	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	39	いいえ	1		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	25	いいえ	15	「はい」ならば何%くらいですか	17.7 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	38	いいえ	2	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	33.8 % 7.5 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	40	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	5.9 年 10.2 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	39	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	40	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	40	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	40	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	36	いいえ	4		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	32	いいえ	8	1日の最大検体数	88.3 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	35	いいえ	5		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	40	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	37	いいえ	3		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	38	いいえ	1		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	40	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	40	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	31	いいえ	9	「いいえ」の場合何%	22.8 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	31	いいえ	9	「はい」の場合 一年何回	16.8 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	30	いいえ	9		